

講義名	ファッション文化論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	野口 正孝		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 1時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	11054

主題と概要

今日の高度情報化社会において、人びとの文化志向によるライフスタイルの変化、多様化は著しいものです。本講義においては、嗜好変化の激しいファッションを表層的に見るのではなく、人と芸術・文化への関わりの中で体系的に捉えて分析、考察することを目的とします。ファッション文化の形成には、時代の背景や生活意識、ライフスタイルが密接に関係しています。この脈絡の中でファッションは、どのような特性をもってこれまで変化し、これからも変化していくのか、生活文化としてのファッションの視点で考察します。

到達目標

ファッション情報を敏感にキャッチし、その動向を短期的な流行や嗜好に溺れず、背景を分析し、客観的で冷徹に捉える意識を培います。

提出課題

毎回の授業の要点をテーマに基づいて考察する小レポート、および期末レポート試験

評価の基準

小レポート：50%（毎回の授業で実施します。）
 期末レポート試験：50%

履修にあたっての注意・助言他

ファッション動向を肌で感じ取るため、各種メディアにアンテナを広げ、情報収集を日常的にすることを心がけてください。

教科書

プリント資料及び参考文献

講義の都度、レジュメを配布します。関連画像をパワーポイントで説明し、抜粋ビデオも上映します。
 参考文献：「世界服飾史」深井晃子著 美術出版社、「ちくはぐな身体」鷲田清一著 筑摩書房

授業計画

- 1.生活文化としてのファッション
- 2.服飾史にみる衣服デザインの変遷 1：古代、中世、近世
- 3.服飾史にみる衣服デザインの変遷 2：近代、現代 1（第二次世界大戦まで）
- 4.服飾史にみる衣服デザインの変遷 3：現代 2（第二次大戦以後）
- 5.服飾史にみる衣服デザインの変遷 4：現代（ポスト・モダニズム）
- 6.日本における洋装文化の変遷：明治、大正、昭和、平成
- 7.ファッション文化 1：人は何故、服を着るのか
- 8.ファッション文化 2：セクシャルティとジェンダー
- 9.ファッション文化 3：背広（世界標準服）
- 10.ファッション文化 4：ジーンズとTシャツ
- 11.ファッション文化 5：ブランド（ファッション・システム）
- 12.ファッション文化 6：ファッションカラー
- 13.ファッション文化 7：アイデンティティとしてのファッション
- 14.ファッション文化 8：ファッションにおける美とは何か
- 15.まとめ

予習・復習

各授業で講義した内容が、今日のファッションにおいてどのように具体的に現れているのか、確認してください。

備考

--